

単元名 ゲーム(ボールゲーム)ボール投げゲーム

配当時間 9時間

- 単元の目標 (1) 簡単なボール操作と簡単な攻めや守りの動きなどのボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができる。
- (2) 簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりしようとする。

標準的な展開例

02100206_001

【準備等】 ドッジボール、対戦表 など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ドッジボールのねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方を知る。 ★ルールを工夫してドッジボールを楽しもう。 ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○チームを作る。 ○ボールを使って遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・円になってパス、円の中に逃げたり捕ったりする人を入れてパスなど ○試しのゲームをする。 <p>2～4 簡単なルールでドッジボールを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボールを使って遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボール、2対1の当てっこなど ○ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナー、対戦相手 ○チームの課題や作戦を話し合う。 ○第1ゲームをする。 ○反省し、練習をする。 ○第2ゲームをする。 ○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・課題、作戦、ルール、マナーなど <p>5～7 ルールを工夫してドッジボールを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボールを使って遊ぶ。 ○ルールについて話し合う。 ○ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナー、対戦相手 ○チームの課題や作戦を話し合う。 ○第1ゲームをする。 ○反省し、練習をする。 ○第2ゲームをする。 ○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・課題、作戦、ルール、マナーなど <p>8～9 ドッジボール大会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リーグ戦やトーナメント戦でドッジボール大会をする。 ○単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面ドッジボールを行うことを知らせる。 ・男女混合6～8人で編成する。 ・チームごとに行わせる。 ・ボールを投げるときは、投げる手と反対の足を踏み出すことを意識させる。 ・＜ルールの例＞ 外野2人、内野4～6人、1ゲーム5分。 内野は当たったらアウトになり外野に出る。 外野が相手の内野を当てたら内野に入る。 内野の人数の多い方を勝ちとするなど。 ・捕ったらすぐに投げることを意識させる。 ・ルールは、複雑にならないよう配慮する。 ・いろいろなチームと対戦することを知らせる ・課題を立てることが難しいチームには、話し合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から、各チームに助言する。 ・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。 ・＜工夫したルールの例＞ 1ゲーム10分、外野は横投げしてもよいパスをしてもよい、ボールを2つ使うなど ・同じチームと2ゲーム行うことを知らせる。 ・課題を立てることが難しいチームには、話し合いに教師が加わって助言する。 【評】 チームの話し合いを通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ゲームの結果から、各チームに助言する。 ・第1ゲームと同じチームと対戦する。 【評】 楽しくドッジボールをする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する ・試合方法は、学級の実態に応じて決める。他の学級と対戦して行うことも考えられる。 【評】 ドッジボール大会を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

1年生の転がしドッジボール・中当てドッジボールを発展させて、対面ドッジボールを行う。対面ドッジボールは、素早い攻守の切り替えやパス回しが大切である。そのため、展開例では、それらを意識した遊びを取り入れる。また、内野と外野の協力が必要になってくるので、話し合いを十分にさせる。

＜運動遊びが苦手な児童への配慮の例＞

- ・柔らかいボールを用いたり、空気を少し抜いたボールを用いたりする。

- ・ 柔らかいボールを用い， 1 対 1 でゴールを守る練習をする。